

# World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



世界の国々や文化を紹介する「ワールズ・ウィンドウ」！ 案内役は、国際交流員キャサリン・タットネルさんとアレックス・ロザウスキさんです。

Vol.89 トーキー  
(オーストラリア)

みなさんこんにちはキャサリンです。今月は、わたしの出身地トーキーをご紹介します。わたしの家もここで紹介するビーチのすぐそばにあります。歩いて行けます。子どもころからよくこのビーチで遊んでいました。もしオーストラリアに行く機会があったら、ぜひトーキーを訪れてくださいね。わたしがサーフボードを持ってみなさんをご案内します。

トーキーは東南オーストラリアにあり、ビクトリア州の州都メルボルンから97km離れていて、車で1時間半ぐらいの所にあります。海岸沿いにあるトーキーの町の人口は6700人で、町自体は小さな町です。

トーキーの天気はとても変わりやすく、夏（12月～2月）の平均最高気温は23度で、30度を越える日が続いたかと思ったら急に寒くなったりすることもあります。また、40度を越える日もあり、最近で一番暑かったのは2009年2月に、45.3度を越える日がありました。冬（7月～9月）の平均気温は7.5度～13度なので、雪は降りません。



△観光で訪れていたころのヨーロッパ人 トーキーに来ていたが、1880年代には町を建設して続々と入植してきました。

現在、トーキーの中心街は海側にあり、森林や田園は内陸にあります。牛、羊、鶏、などのたくさんの農場があり、さまざまな農作物も作られています。トーキーの周りには鶴田町のようにブドウ園も多くあり、ワイン醸造所が美味しいワインを作っています。

トーキーは海がとても有名で、夏にはメルボルンから多くの観光客が来るので、町の人口が2倍ぐらいに増えます。高いオレンジ色の断崖に囲まれた有名なビーチは、白い砂浜と透明な青い海がとてもきれいで人気があります。

しかし、速い潮流と大きい波で危険な場合もあります。そのため、夏に監視員は毎日ビーチをパトロールします。町の子どもたちは小学生の時から海の色々な状況を把握し、

自信を付けるために「ニッパーズ」という監視員になるための活動をします。そしてその後、高校生になったら監視員になります。他にトーキーで人気のあるのは、カイトサーフィン、ウィンドサーフィン、魚釣り、セーリング、オ  
△ニッパーズで活動する子どもたち



△サーファーにとって世界大会が行われるベルズビーチはあこがれの地。ビッグウェーブを求めて世界各地からサーファーたちがこのビーチを訪れる

ーオーストラリアンフットボール、クリケット、などです。

トーキーはよくオーストラリアの「サーフィンの首都」と呼ばれています。なぜかという、周囲のビーチはきれいなだけでなく、サーフィンのためにとってもいい波があるからです。子どもからお年寄りまでサーフィンを楽しんでいます。毎年、国際的に有名な「ベルズ・ビーチ」でプロサーフィンのイベントが開催され、ケリー・スレーターなどの有名なサーファーが出演します。

オーストラリアで有名な「グレート・オシャン・ロード」という全長243kmの道はトーキーから始まっています。「グレート・オシャン・ロード」は第一次世界大戦の帰還兵が記念のために作ったもので、道はきつい山腹に作られています。運転しながら、きれいな海、断崖、山腹の景色を楽しんで、静かな海辺を訪問します。でも、道の脇は険しい崖で下は海なので、運転が上手な人じゃないと危険です！道が作られる前は海辺の町に行くには船でしか近づけませんでした。

「グレート・オシャン・ロード」の途中に、わたしが大好きな場所「12アポスツルズ」（12人の使徒という意味）と呼ばれる高さが45mもある岩があります。1千万～2千万年前に  
△神秘的な岩「12アポスツルズ」  
浸食してできた大きな石灰岩の岩が海岸線沿いに並んでいます。毎年2撃ぐらいずつ浸食していて2009年には、その内の1つが倒れてしまったのが残念です。

